

公 示 用

令 和 7 年 度

設 計 書

役務名 水 再 生 プ ラ ザ 敷 地 境 界 等 臭 気 測 定 業 務

令和7年 6月

【業務委託設計書作成基準の公表について】

- (1) 業務委託費の積算の透明性・妥当性を図ることを目的として、本市の業務委託設計書作成基準を一部、公表しています。
- (2) 公表は、下水道庁舎1階の閲覧コーナーにある閲覧用パソコン(2台設置)で行っています。
- (3) 提供時間は開庁日の午前9時から午後5時までです。(12時15分から13時00分を除く。)
- (4) 閲覧に当たっては、備付けの情報提供設計書閲覧・複写届に必要な事項を記入し、窓口提出してください。
- (5) データの閲覧又は、CD-Rへの複写が可能です。CD-Rは持参してください。

【業務委託設計書作成基準を公表しているのは、下表の業務である。】

業務項目	対象施設、設備等
運転管理業務	拓北T、伏古川T、東部T、定山溪T、厚別T、茨戸T
	西部SC焼却、西部SC脱水、東部SC、手稲沈砂洗浄C、厚別洗浄C
融雪施設運転管理業務	創成川融雪管、厚別融雪槽
維持管理	埋設圧送管、MP施設等
汚泥等運搬業務	沈砂等、定山溪プラザ濃縮汚泥、東部SC等脱水汚泥
焼却灰運搬業務	西部SC
クレーン性能検査整備	
電気設備点検	特別高圧、高圧電気、計装、高圧電動機等、シーケンサ等、直流電源
エレベータ点検	
消防設備点検	
庭園管理	
構内除雪	

札幌市下水道河川局事業推進部
新川水処理センター

役務名 水再生プラザ敷地境界等臭気測定業務

業務委託費	円
一金内訳	
└業務価格	円
└消費税等相当額	円

業 務 説 明

1 業務の概要

水再生プラザの敷地境界、排出水の臭気を測定し、悪臭防止法に基づく規制基準の適合状況を評価した報告書を作成する。概要及び業務予定量は、次のとおり。

①試料採取

②臭気指数の測定

③報告書の作成

④業務予定量

敷地境界：10水再生プラザ各2地点

排出水：創成川水再生プラザアメニティ施設安春川供給口1地点

2 履行期間	契約締結日から令和7年11月28日まで
--------	---------------------

3 仕様書	☐ 別添共通仕様書及び特記仕様書による。
	☒ 別添仕様書による。

(役務名) 水再生プラザ敷地境界等臭気測定業務

(一 金) _____ 円

業務委託費	業務価格	業務原価	試料採取費
			第1号内訳書
		諸経費	報告書作成費
		第3号内訳書	第2号内訳書
		分析費	
		第4号内訳書	
	消費税等相当額		

札幌市

(委託設計書 様式3)

第 1 号 試料採取費 内訳書

一金 円

名 称	形 質	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
労務費	労務費	式	1.0			単価番号1
交通費	交通費	式	1.0			単価番号2
計						

第 2 号 報告書作成費 内訳書

一金 円

名 称	形 質	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技 師	測量技師相当	人	1.0			
技師補	測量技師補相当	人	2.0			
計						

一金 円

札幌市 (委託設計書 様式5)

内訳書

門

(委託設計書 様式4)

細 目	単 位	単 価 (円)	積 算 の 基 礎					単 価 番 号	
労務費	式		技師						1
			(敷地境界) 20 検体× 0.119 人/検体 = 2.38 人						
			(排水水) 1 検体× 0.119 人/検体 = 0.119 人						
			2.50 人 × 円/人 = 円						
			技師補						
			(敷地境界) 20 検体× 0.119 人/検体 = 2.38 人						
			(排水水) 1 検体× 0.119 人/検体 = 0.119 人						
			2.50 人 × 円/日 = 円						
			計 (技師+ 技師補) = 円						
交通費	式		1,500cc (56kW)						2
				単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	
			ガ ソ リ ン	L	8.23				
			機 械 損 料	日	1.0				
			計	円/日					
			供用日数 3.0 日/10プラザ 日						
			計 (燃料費 + 損料) × 供用日数 = 円						
分析単価	検体	一							3
				単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	
			臭 気 指 数 (敷地境界)	検体	20				
			臭 気 指 数 (排 出 水)	検体	1				